

令和5年5月1日

第85号

令和5年2月
定例会の内容を
お知らせします。

かけがわ 市議 だよ り会

おもな内容

- P2 トピック (政策提言)
- P4 令和5年度当初予算の審議について
- P6 令和4年度補正予算等の審議内容
- P7 国、県へ意見書を提出
- P8 審議結果一覧
- P9 傍聴者インタビュー
- P10 一般質問
- P15 出前講座の紹介
- P16 未来日誌/議員研修会/傍聴席/表紙の説明/編集後記

Topic トピック



茶のみやきんじろう © 掛川市

議会から 市長へ政策提言

各常任委員会が1年間のテーマを定め、現地調査およびリモートによる研修などを行いながら調査研究を進めてきました。

所管の常任委員会が議会報告会を経て、市民の皆さんのご意見を踏まえ、まとめた2つのテーマについて、全議員による政策討論会で討論を重ね、「提言」として取りまとめ、令和5年3月31日に掛川市長へ提出しました。



議長から市長へ提言書を渡す

市の持続的な成長のために

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、本市では、持続可能なまちづくりを目指し、第2次掛川市総合計画【ポストコロナ編】では、令和22年(2040年)の人口を11万人と設定している。

少子高齢社会、人口減少などによる人材不足、財政難は避けられない中、市民が豊かで安心・安全な生活を向上させていくためには、市と市民が一体となり、出生率を高め、移住定住を促進し、人口増加を目指していくことが必要である。

しかし、これまでの人口増加を前提としてきた社会システムの見直しは急務である。

さらに、コミュニティ意識が希薄となり、地縁共助の弱体化も想定される。住民ニーズや地域課題が多様化・複雑化していくため、持続可能な自治体運営や、地域社会構造の柔軟性や強靱性が求められている。

掛川市のこれからの持続可能な成長のため以下の提言を行う。

- ① 急速に変容する地域社会・地域自治を取り巻く環境に対応するため、責任部署を定め、持続可能な地域社会の姿と行政のあり方を明確化し、改革に取り組むこと。
- ② 地域共生を念頭に置き、移住定住希望者への支援と受け入れる側の支援を拡充すること。
- ③ 外国人居住者に対して、市の対応を充実させ、NPOを含め、地域共生を推進すること。また、外国人居住者比率の高い南部地域については、支所に通訳者の配置など体制整備を図ること。

新しい学校施設の在り方について

厚生労働省は2022年の全国出生数を79万9,728人（前年比5.1%減）と発表した。2017年の政府予測では、80万人を割るのは2033年としており、少子化は予想を遥かに上回るペースで進んでいる。

掛川市の2022年の出生数は755人と2017年の963人から5年間で21.6%減少しており、教育環境においても大きな影響を及ぼすことが危惧されている。

掛川市の学校施設は、1960年代から70年代に建設された学校が多く、半数が鉄筋コンクリート造の法定耐用年数47年を超えている。築60年を超えた学校もあり、老朽化が進み、子どもの安全安心で快適な学習環境が担保できなくなっている。

また、一人一台タブレットが導入されるなど、コロナ禍も経験し授業の在り方も変革の時代を迎えている。

掛川市としても、さまざまな社会情勢の変化に対応するため、これまで中学校区学園化構想として小中一貫教育を進めてきた。令和5年度には、掛川市学校再編計画の策定を予定しており、令和4年度は、全9中学校区で学校再編計画策定に向けた市民意見交換会が行われ、さまざまな意見が交わされた。

このような中、掛川市議会として、掛川市の将来を大きく左右する新しい学校施設の在り方について、以下の提言を行う。

- ① 学校再編計画の実施計画を進めていくにあたり、必ず地元合意を得ること。
- ② 選択肢のひとつとして、地域住民が利用できる共用ゾーンを設ける等、複合施設化することも検討すること。
- ③ 校舎の老朽化や適正規模を踏まえ小中一貫校を新設してから、将来的な生徒数の減少に応じて段階的に再編していく方法も検討すること。
- ④ 小中一貫校の施設形態となる、施設一体型・施設隣接型・施設分離型について、アンケート結果からも市民の理解は進んでいない。説明会や事例見学会等を通し、メリット・デメリットを理解できるよう努めること。
- ⑤ スクールバスが大きな課題である。天浜線や既存バスなどの活用を十分に検討し、市内で不公平感のない計画とすること。



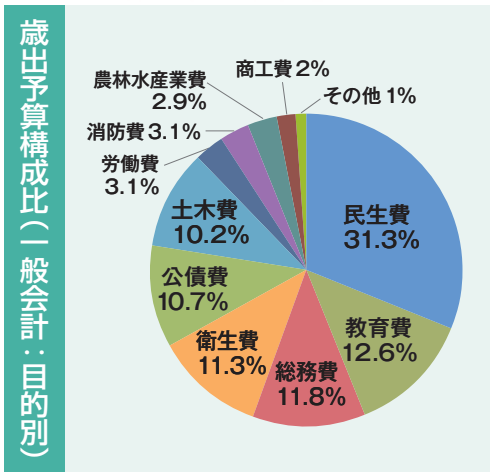
提言書の内容を市長へ説明

令和5年度当初予算可決

「人と環境の持続可能性にチャレンジする予算」と位置づけられた予算が提案、可決されました。きょうこども園整備の完了等により前年度から減少しましたが、横須賀城跡公有化事業の推進や出産・子育て応援交付金の追加等により、過去3番目の予算規模となりました。

区分	令和5年度	令和4年度	増減
総額	848億2,060万円	864億 764万円	△ 15億8,704万円
一般会計	503億2,000万円	509億1,000万円	△ 5億9,000万円
特別会計	240億7,436万円	251億8,024万円	△ 11億 589万円
企業会計	104億2,624万円	103億1,740万円	1億 884万円

*特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、掛川駅周辺施設管理、5財産区など）
*企業会計（水道、下水道など）



「未来チャレンジ事業」では、市職員の提案枠の新規6事業(2,796万円)に加え、令和5年度は高校生チャレンジ公募事業(100万円)を実施します。

未来チャレンジ事業の新規事業（抜粋）

- ◎ふらっと美術館プロジェクト 500万円
- ◎粟ヶ岳登山道路ゆずりあい通行支援事業 550万円
- ◎PR動画等による認知度UPプロジェクト 500万円
- ◎子育て応援チャンネル構築事業 360万円
- ◎高校生チャレンジ公募事業 100万円

注目事業

●小中一貫校整備基本構想策定事業	1,330万円
●環境の持続可能性に向けた更なるごみ減量と資源化研究事業	1,863万円

令和5年度当初予算審議で議員から出された主な意見

- 人事については、採用や研修は大変難しい。職員の育成は非常に大変だが、有益な研修をやってもらわなければいけない。
- これまで採用したプロフェッショナル人材がどういう成果をもたらし、さらに改革、向上させていく予定かをしっかりと確認していく必要がある。
- 福祉の予算は大事にしなければならない。補聴器助成の新設等は、市民にとっても喜ばれている。寄り添い型の高齢者支援ができるまちとなることを望む。
- 少子化が一気に進んでおり、9学園という考えも見直す必要があるかもしれない。小中一貫校だけでなく、先に小学校を統合することも考えなければならない。
- 事業と成果指標との整合性がとれていないものがある。議会として事業をチェックする責任があり、目標値に対して結果がどうなったかを検証するため、整合性のある成果指標を掲げて欲しい。

防災対策事業推進費**4,723万円**

さまざまな災害に対応するため、実動訓練を実施し、災害時の対応を習得する。また、訓練を通じて防災体制の修正を行う。

**主な質疑**

Q 防災対策事業推進費についてコンピュータソフトウェア使用料は、昨年導入したシステム使用料なのか。

A 昨年入れたアプラという災害、雨量を予測するシステムがこの使用料の中に含まれますが、新たに、災害時にいろいろな方から SNS に投稿される情報をリアルタイムで集約できるシステムの使用料 52 万 8,000 円を含めて計上しました。

地域福祉事業推進費 1,405万円

第四次地域福祉計画などを推進する。ひきこもり支援については、ひきこもり地域支援センターを設置するほか、ひきこもりに対する理解促進を目的とした講演会を開催する。

**主な質疑**

Q 地域福祉事業推進費について、新設されるひきこもり地域支援センターとはどのようなものか。

A 業務委託先の精神保健福祉士や公認心理師の資格を持った専門職を配置していただく考えです。相談窓口として、中部ふくしあなどへの設置を考えています。

塵芥処理施設維持管理費**5,979万円**

板沢最終処分場は、水質調査などのモニタリングを経て廃止手続きを行う。新井最終処分場は環境資源ギャラリーから焼却灰などの最終処分を行い、高瀬最終処分場は市民からのがれきの受け入れを行う。

主な質疑

Q 塵芥処理施設維持管理費について、新井の最終処分場への搬入はまだ余裕があるのか。

A 適正なごみ処理啓発事業費の計画策定の中で、資源化に向けた研究や残量、灰の排出量の推測もしていきます。

**職員採用費 745万円**

市の業務遂行に必要な能力、職務に対する意欲、郷土愛を持った資質の高い職員を採用する。

**主な質疑**

Q 職員採用費のうち、採用試験に係る新たなWEBサイトを開設するための委託料が増額となっているが、令和3年度から導入したWEB方式と比較して、何が新しくなるのか。

A 令和3年度の導入については、コロナ禍であったため、試験や面接もWEBで行いました。令和5年度については、掛川市の魅力や働いている市職員のいきいきとした働きぶりを情報発信するWEBサイトを作成するための委託料です。

小学校運営費 2億5,283万円

経常経費などの適切な支出管理。事務機やAEDなどリース物品の管理。学校水泳授業民間施設委託事業。交流学習バス委託事業。

**主な質疑**

Q 学校水泳授業民間施設委託事業について、他の小学校に広げていく予定はないのか。

A 現在実施している曾我小学校は人数規模などからメリットが大きいです。他の小学校の場合は、メリットが低く、単価が高くなってしまいます。スポーツ協会や他の学校などでの実施も含め、引き続き研究していきます。

観光PRイベント開催費**1,936万円**

掛川観光協会等が実施するイベントや観光情報PR事業を支援することで、掛川市への誘客拡大を図る。

主な質疑

Q 観光PRイベント開催費、システム開発委託料の委託先について伺う。

A 大学生の協力をいただきながら、システム業者に委託する予定です。



補正予算等の審議内容

令和4年度一般会計補正予算(第12号)の概要

補 正 額

△11億 591万円

補正後の予算額

545億 456万円

第12号補正は、長引く新型コロナウイルス感染症対策や急激なエネルギー価格の高騰に対する支援金などは追加となりましたが、地域医療整備事業費および企業立地促進事業費などの準備金が大きな減額となり、総額として減額補正予算となりました。

普通退職手当額 増

4,134万円

令和4年度の退職予定者数に合わせる増額



主な質疑

- Q** 一般職給与費について、普通退職者が増えているが、内訳を伺う。
- A** 普通退職者15人のうち、体調不良が3人、家庭の事情が2人、結婚で他市へ行く者が1人、その他事件関係が2人、他職への転職が7人である。年代別の内訳では、20代1人、30代6人、40代7人、50代1人となっています。

地域医療整備事業費

減 1,150万円

対象地域への医科診療所新設等の予定がないため、地域医療拡大支援診療所誘致等補助金を皆減



主な質疑

- Q** 地域医療整備事業費について、診療所などの誘致は、小笠医師会との連携だけでなく、行政として独自の誘致活動ができないのか。
- A** 地域医療のバランスを考えながら誘致していく必要があります。医師会と密な連携をとっていくことを重視しています。

天竜浜名湖鉄道地域鉄道対策事業費補助金

増 571万円

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による旅客収入減少、および燃料費高騰などの影響を受けた天竜浜名湖鉄道の安全運行を確保するための補助金



主な質疑

- Q** 天竜浜名湖鉄道地域鉄道対策事業費補助金の増額について、コロナの関係や燃料費の高騰以外で補助事業を行ってきたことを伺う。
- A** 20年以上経過している車両が多く走っており、修繕費がかさんでいます。利用者収入増につなげるために、どうする家康やエヴァンゲリオンなどのラッピング、グッズ販売、副駅名のネーミングライツなど、乗客収入以外のものに対する取り組みを積極的に行ってきました。

国、県へ意見書を提出

掛川市議会では、令和5年3月24日に以下の意見書の提出について全会一致で可決しました。

国へ提出

犯罪被害者支援の充実を求める意見書（抜粋）

国においては、犯罪被害者の権利に対応して、より犯罪被害者等の視点に立ち、実効性をもった制度を確立し、速やかに犯罪被害者支援の充実を図るため下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 犯罪被害者等の加害者に対する損害賠償債権を国が買い取り、国が回収を行う制度を創設すること。
- 2 損害賠償請求訴訟を起こせない場合にも、損害賠償請求権を国が買い取る制度を創設すること。
- 3 犯罪被害者等の病院での治療費、入通院交通費、介護費などの実費及び介護用品、義手義足、自宅改造など、国が現物給付する制度を創設すること。
- 4 犯罪被害者等に対し、被害の内容、治療情報等を入力した犯罪被害者カードを発行し、犯罪被害者等は、そのカードの提示により支援が受けられる制度を創設すること。
- 5 仮釈放された加害者に保護観察官や保護司がつくのと同じく、犯罪被害者等に寄り添ってくれる人的組織を創設すること。
- 6 犯罪被害者支援庁を設立すること。

県へ提出

物価高騰に伴う給食費への財政措置を求める意見書（抜粋）

静岡県の未来を支える子どもたちに安心して質の高い食環境を提供し続けるため、以下要望する。

- 1 給食費の物価高騰分について、県内市町への財政措置を行うこと。

2月定例会における審議結果一覧

審議の結果、予算を27件、条例を9件、人事を6件、
 その他を6件、議発を4件、可決しました！

■全会一致で可決・同意

予 算	令和5年度掛川市公共用地取得特別会計予算について	掛川市職員定数条例の一部改正について
	令和5年度掛川駅周辺施設管理特別会計予算について	掛川市国民健康保険条例の一部改正について
	令和5年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算について	掛川市立学校設置条例の一部改正について
	令和5年度上西郷財産区特別会計予算について	掛川市学校給食共同調理場に関する条例の一部改正について
	令和5年度桜木財産区特別会計予算について	掛川市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
	令和5年度東山財産区特別会計予算について	掛川市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について
	令和5年度佐束財産区特別会計予算について	掛川市子ども・子育て会議条例等の一部改正について
	令和5年度倉真財産区特別会計予算について	掛川市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
	令和5年度掛川市水道事業会計予算について	
	令和5年度掛川市簡易水道事業会計予算について	掛川市外2組合公平委員会委員の選任について
	令和5年度掛川市公共下水道事業会計予算について	掛川市固定資産評価審査委員会委員の選任について 他3件
	令和5年度掛川市農業集落排水事業会計予算について	掛川市桜木財産区管理委員の選任について
	令和5年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計予算について	
	令和4年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)について	情報公開・個人情報保護審査会事務の受託及び規約変更について(小笠老人ホーム施設組合)
	令和4年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	情報公開・個人情報保護審査会事務の受託及び規約変更について(掛川市・菊川市衛生施設組合)
	令和4年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第1号)について	情報公開・個人情報保護審査会事務の受託及び規約変更について(東遠工業用水道企業団)
	令和4年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算(第1号)について	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について
	令和4年度掛川市水道事業会計補正予算(第3号)について	東遠学園組合規約の変更について
令和4年度掛川市簡易水道事業会計補正予算(第3号)について	掛川城天守閣修復景観整備工事変更請負契約の締結について	
令和4年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について		
	掛川市議会の保有する個人情報の保護に関する条例の制定について	
	掛川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	
	「犯罪被害者支援の充実を求める意見書」の提出について	
	「物価高騰に伴う給食費への財政措置を求める意見書」の提出について	

■文教厚生委員会が賛成少数で不採択

学校給食費の保護者負担増(12%値上げ)の中止を求める請願

〈主な意見〉給食費を公費負担する場合、財源確保の検討が必要である。また、学校給食法では運営経費等以外には保護者負担と定められており、大変心苦しいが仕方がないとする。

■文教厚生委員会が全会一致で不採択

新型コロナワクチン接種券配布方法の変更に関する陳情

〈主な意見〉市からの接種案内通知には、市が作成した接種は義務ではないことを記載した文書、厚生労働省のリスクについての文書が同封されており、しっかりと対応できている。

■環境産業委員会が賛成少数で不採択

第3セクター「株式会社森の都ならここ」の継続を求める陳情書

〈主な意見〉市民生活に必要な不可欠な福祉的な公共施設以外は、基本的に良い状態のうちに譲渡することが必要である。

■賛否の分かれた議案（賛成多数可決） ○賛成 ×反対

議案名	議員名	創世会							新しい風			SKK*	共産*	共掛*	志*							
		松本均*	安田彰	石川紀子	鷲山記世	高橋篤仁	山田浩司	藤原正光	寺田幸弘	山本裕三	二村禮一	橋本勝弘	松浦昌巳	嶺岡慎悟	藤澤恭子	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	鈴木久裕	富田まゆみ	草賀章吉
令和5年度掛川市一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和5年度掛川市国民健康保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和5年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和5年度掛川市介護保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
掛川市手数料条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川市一般会計補正予算（第12号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

■賛否の分かれた議案（賛成少数否決）

令和5年度掛川市一般会計予算に対する修正案		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
令和4年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）に対する修正案		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
学校給食費の保護者負担増（12%値上げ）の中止を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	

*議長（松本 均）は、採決には参加しません * SKK ▶市民派・公明倶楽部 共産▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

特別企画 傍聴者インタビュー

「何か新しい気づきがあると思い、足を運んだ」

もりした れん
森下 蓮 さん（18歳）掛川市出身



議員 市議会に足を運んだきっかけは何ですか？

森下さん もともと政治や行政にすごく興味があり、市議会ですんなり取りが行われているのか、実際に同じ部屋で傍聴することで、新しい気づきがあると思い、とりあえず行ってみようということで、足を運びました。

議員 実際に市議会を傍聴してどうでしたか？

森下さん 議員さんの表情が見えて、地域とつながって一生懸命に形にしようという様子がすごく伝わってきました。議会全体の空気感を感じながら、実際に見られたことはすごく意味があったと思います。初めて委員会を見て、予算はこういうふうな議員さんと市の職員との間でやりとりをして、形にしているんだなというのを知ることができたのはよかったです。

議員 これから政治に関わっていきたく思いますか？

森下さん 広く政治や行政に関わりたいです。委員会を見て思ったことは、市議会も政治にかかわってすごいいいと思いますが、市の職員も資料を作って、議員さんの質問に的確に答えていて、行政もかっこいいと思いました。

議員 どんな掛川市になってほしいですか？

森下さん みんなが政治にもっと関心をもって欲しいです。議員さんや行政が身近に感じられて、自分たちがいろいろ考えながら、提案していけるくらいに理解が深まっていくといいと思います。

議員 市議会を広報していくにはどのような方法があると思いますか？

森下さん 市への疑問を気軽に聞くことができるプラットフォームがあるといいと思います。議会中継を見たらポイントがたまっていく仕組みになると、興味のない人も見るきっかけになると思います。

一般質問 Q & A



二次元コードから各議員の一般質問の議会中継をすべて視聴することができます。

新しい風
嶺岡慎悟



嶺岡議員のすべての一般質問が視聴できます



移住者数の回答ミスの原因は

Q 本年1月7日新聞報道があった移住者数の回答ミスについて組織としてどのような問題があったと捉えているのか。

組織としてのチェック機能が働かなかったことである

A 掛川市への移住者の増減について誤った報道になってしまったことに対し、改めてお詫びを申し上げます。今回のミスは質問内容について、相談件数と移住者数を取り違えたことにより起こったもので、組織としてのチェック機能が働かなかったことが原因だと考えています。担当部署には、厳重に注意をしましたが、再発防止に向け、職員一人ひとりが文書の取り扱いなど事務手続きを確認するとともに、職場内のコミュニケーションを十分に図り、一人ではなくチームで動く体制構築に努めていきます。

小中学校や高校入学時の祝い金の検討を

Q 掛川市の少子化も一気に進んでいる。選ばれるまち掛川になるために、移住定住策の一つとして、小中学校や高校入学時の祝い金を支給する考えはないか。



先進事例を参考にさまざまな支援施策を研究していく

A 子育て支援策として、子ども医療、就学支援、「たまりな」の屋内遊び場の再整備などを行い、子育て支援策全体を通して、掛川市が子育て世代に選ばれるまちになるよう施策を進めていきます。入学祝い金についても、子育て支援の有効な方法の一つであると考えていますが、先進自治体の事例を参考にしながら、さまざまな支援施策を研究していきます。

共に創る掛川
富田まゆみ



富田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



バス料金体系を見直すべき

Q 過去の市議会からの提言でも、料金格差の是正による不公平感の解消、乗車意欲の向上が指摘されている。早急に料金体系を見直すべきと考えるが、見解を伺う。



市内を走る 公共バス

運賃の一部助成について関係者と協議し検討を進めたい

A 市内の北部と南部では、運行形態などの違いからバスの運賃が異なっているため、南部地域限定で、中東遠総合医療センターの復路運賃の無料化など、不公平感の解消に努めています。民間路線バスは、距離に応じた運賃体系を採用しており、運賃を市が決めることはできませんが、一部助成による乗車意欲の向上の検証について、今後、事業者や関係市町と協議し、検討を進めたいと考えています。

教職員の負担軽減のためにさまざまなフォローを

Q 教職員の働き方改革を進めるには、これまで以上に業務の役割分担・適正化のためのフォローが必要。有償ボランティアや市独自のサポートスタッフ配置、外部委託化などが有効と考えるが、見解を伺う。

学校サポーターなどの活用により教員の負担軽減を図る

A 現在、各学校においてはさまざまな団体に、地域学校協働活動として、各学校が必要としていることへのサポートをいただいています。有償ボランティアや外部委託化については、学校が抱える課題の優先順位を踏まえ、学校サポーターなどの会計年度任用職員の活用によって教員の負担軽減を図っていききたいと思えます。

【その他の質問事項】

・市長の対話政策について

創世会
山田浩司



山田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



駅南地域の活性化を

Q 掛川駅周辺の駅南地域は、掛川の顔となる拠点である。マンションやホテルが建ち並ぶ駅南地域の活性化について今後の方向性を伺う。



どのような誘導施策が有効であるか検討する

A 近年、駅南地域はマンション建設などが進んでおり、定住人口の増加が期待される場所です。しかし、本地域は、掛川市立地適正化計画において、都市機能誘導区域として位置付けており、居住誘導だけでなく、医療、福祉、商業などが効率的にサービス提供できる区域を目指しています。このため、更なる土地利用が図られるよう、本地域に数多く点在する駐車場や空き地などを活用し、どのような誘導施策が有効であるか

検討していきます。

南西郷地域に商業施設を

Q 本年度実施の「都市づくり推進事業南西郷地区土地利用可能性調査業務委託」では、物流や工場にとられず、幅広い土地利用の検討をすべきと考えるが、見解を伺う。

幅広い活用を視野に事業者ヒアリングを実施している

A 本年度、現状分析のほか、土地利用の可能性調査を実施しております。本地域は、交通アクセスも良く大変ポテンシャルの高い地域と考えていますので、物流や工業だけでなく商業など幅広い活用の可能性を視野に、現在、事業者ヒアリングを実施しているところです。

【その他の質問事項】

・掛川市の良好な生活環境の確保について

日本共産党
議員団
大井 正



大井議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



問題点が未解決のまま、風力発電が着工されないために

Q 風力発電事業者は、市民や関係者に誠実に向き合っていない。

計画に問題も多く、このままの着工は深刻な環境破壊が懸念される。県や島田市・森町と連携し、情報共有や共同での申入れなど行うべきではないか。

今後県や関係市町と情報共有し必要に応じた対応をする

A この風力発電計画については、その規模からこれまで県が中心となって環境アセスメント（環境影響評価）の審査手続きが進められています。令和元年度から環境アセスメントの各段階において、島田市、森町とも情報共有して対応してきています。今後も、引き続き、県や島田市、森町と情報共有しながら、必要に応じた対応をしていきます。

部活動の地域移行で、保護者の負担を増やさないために

Q アンケートの結果で子ども送迎と、高額な会費が心配事の上

位である。教育の一環である地域クラブ活動の運営費用を、全て保護者負担とすべきではないと考えるが、見解を伺う。



必要最低限の経費を保護者に負担していただく必要がある

A 現在の部活動が低廉な費用負担で実施できている背景には、教員が指導業務だけでなく、会場調整や活動計画の作成などの管理業務をわずかな手当てで担っている実態があります。今後、地域団体等による持続可能な体制を構築するためには、運営に必要な最低限の経費を保護者に負担していただくことが必要です。ただし、経済的な事情を理由に、子どもが活動への参加をあきらめることのないよう、具体的な支援のあり方を検討していきます。

創世会
安田 彰



安田議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



誘客するための効果的なシティプロモーションを

Q 王将戦第一局と「どうする家康」の放送開始日が重なる中、

掛川城天守閣が工事中であったことは残念だった。工事時期や期間を調整する必要があったと考えるが、見解を伺う。



工事中の掛川城

国の社会資本整備総合交付金を活用した計画で工事を実施

A 本工事は、令和6年度の開門30周年記念にあわせて修復を行い、お披露目するため、国の交付金を活用した計画の期間において事業を進めてきたものです。令和4年度の工事については、「どうする家康」の放送に合わせ、1月末に工事を終わらせる計画で進めてきましたが、土佐漆喰の材料調達などに不測の期間を要し、やむを得ず工期を3月末まで延長しました。今後、より

多くのお客様を掛川城へお迎えするため、PRに努めていきます。

掛川市の不登校対策を

Q 文部科学省が推進する不登校特例校では、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成することができる。設置について検討する価値はあると考えるが、見解を伺う。

今後みどり教室やサテライト教室を充実させていく

A 教育現場では慢性的な人材不足であり、個別の対応を行うための教員確保が困難な状況です。また、施設や財源の確保など、設置に係る課題があります。現在、本市では、みどり教室や北分教室、5つのサテライト教室を活用して支援をしており、不登校特例校と同様の成果が報告されています。今後各教室を充実させていくことで、不登校児童生徒一人ひとりの実態に対応できると考えています。

日本共産党
議員団
勝川志保子



勝川議員のすべての
一般質問が視聴
できます



ふるさと応援基金を使い学校給食費の保護者負担増回避を

Q 子育ては社会が担うものである。ふるさと応援基金の取り崩しなどで、物価高騰が家計を直撃している最中の給食費の保護者負担増は回避するべきと考えるが、見解を伺う。

安定した学校給食の提供を維持するために改定を進める

A 安全、安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食の提供を維持することが難しい状況となつているため、共同調理場運営委員会などの審議により、12%増に改定する方向で進めることとなりました。一方で、負担の増加に配慮が必要なお家庭には、就学援助費の支援枠の拡充を実施します。なお、当初予算案では、ふるさと応援基金の取り崩しを子ども医療費の完全無料化などに充当し、未来を担う子どもたちのために活用していきます。

猫の問題の解決のため、不妊去勢手術助成制度の見直しを

Q 市民も猫も幸せになるための対策として、不妊去勢手術助成制度は、さまざまなケースに柔軟に対応できるように見直しが必要であると考えるが、見解を伺う。



保護猫を世話し譲渡につなぐボランティア

使いやすく効果的な補助金制度になるように努める

A 現在の制度は、飼い主がいない猫の繁殖を抑制する目的で制定され、毎年30件程度助成しております。広く活用されていると考えています。今後も引き続き、過剰繁殖により捨てられる猫や多くの猫の命を救うため、改めて幅広く意見を聞きながら、使いやすく効果的な補助金制度になるように努めていきます。

【その他の質問事項】

・市民要望を取り入れた総合的な22世紀の丘公園整備を

創世会
鷺山記世



鷺山議員のすべての
一般質問が視聴
できます



学校の女子トイレの洋式化は

Q SDGs 未来都市計画には「すべての人に優しく」とある。住民福祉増進のためにも学校、特に女子トイレの洋式化を早急に進めるべきと考えるが、見解を伺う。

学校再編・長寿命化の時期を考慮し洋式化を実施したい

A 児童生徒や保護者、学校などから洋式化の要望が多く寄せられており、改修の必要性を十分に認識しています。しかしながら、校舎の老朽化に伴う緊急を要する工事を優先したことで、トイレの洋式化は小規模な改修に留まっています。今後は、学校再編に伴う築造や長寿命化に伴う大規模改修などの時期を考慮しながら、洋式化の改修を実施していきたいと考えています。

観光地粟ヶ岳のトイレの充実を

Q 東山いづく処とバス停「東山」にあるトイレを、ユニバーサル

デザインや性の多様性に配慮したトイレにする必要があると考えるが、見解を伺う。



バス停「東山」のトイレ

予算や建築面積等の条件の中で最大の対応を行う

A 粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスのオープン後は、以前にも増して観光客が訪れており、さらなる環境整備の必要性から、企業版ふるさと納税等の各種制度を活用し、整備費用の確保に努めています。ユニバーサルデザインはもとより、昨今の性の多様性に配慮したトイレ環境の整備については、予算や建築面積等の条件の中で、最大の対応を行い、粟ヶ岳を訪れた方に、気持ちよくご利用いただけるよう、取り組んでいきます。

【その他の質問事項】

・仮称かけがわ地域クラブについて
・参観会の開催期間について

新しい風
藤澤 恭子



藤澤議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



新たな財源確保を検討すべき
では

Q コロナ対策、超少子高齢社会に輪をかけ、近年頻発する自然災害や物価やエネルギーの高騰など財政難は続く。職員の危機感と経営意識が必要である。新たな財源確保の展望と具体策は。

企業誘致の推進等により安定的な財源確保に努める

A これまで、企業誘致の積極的な推進や、ふるさと納税の返礼品の魅力向上等により、自主財源の確保に努めてきました。今後も、企業誘致の推進等により、雇用の創出や定住人口の増加、地域経済の活性化を図り、安定的な財源確保に努めていきたいと考えています。また、令和5年度当初予算案では、行政事務の効率化を推進し、経常経費の削減により財源を生み出すことで、財政基盤の強化を図っていきます。

災害時の停電を想定した避難の在り方は

Q 他の災害に比べ、津波避難では一刻を争い長時間の避難が伴う。停電を予想して、ソーラーライトや避難場所まで誘導する道路鉞びきょうの設置が有効ではないか。



自発光式の道路鉞

夜間の津波避難訓練を計画し課題を検証していく

A 現在、避難時の非常持ち出し品として、懐中電灯などを用意することを呼びかけています。避難場所までの道路や避難所へ、ソーラーライトや自発光式の道路鉞を設置することは有効な手段の一つと思われまますので、停電時の対応について研究していきます。来年度は、夜間の津波避難訓練を計画し、夜間避難における課題を検証していきます。

市民派・
公明倶楽部
窪野 愛子



窪野議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



工業団地の企業誘致は、市長のトップセールスが肝要では

Q 新エコポリス工業団地第3期の事業開発が、掛川市土地開発公社の事業主体で着手される。新たな工業団地の企業誘致には、市長自らがトップセールスをすることが肝要と思うがいかが。



新エコポリス工業団地第3期の事業開発予定地

引き続き企業に対してトップセールスに取り組んでいく

A 引き続き、産業構造の変化を見据え、将来性が高く、地域振興と雇用創出が期待できる企業に対して、トップセールスに取り組んでいきます。

市内中学校の校則見直しへの今後の取り組みは

Q 近年、ブラック校則や学校の謎ルールといわれる、校則の見直しが全国で話題となっている。本市の校則見直しへの今後の取り組みを伺う。

ガイドラインを作成し市全体で校則改革を推進している

A 令和6年4月の中学校の新制服導入に伴い、制服に関する校則の見直しについては、各校と連携しながら協議を進めています。また、昨年11月には、校則の見直しに関するガイドラインを作成し、「他律から自律」をキーワードに、生徒が自ら考え、判断することのできる力を育むことができるよう、市全体で校則改革を推進しています。すでに、各中学校では、校則見直しの動きが進み始めており、生徒が主体となって校則改革を推進しています。来年度は各中学校の担当教員による連絡会を定期的に開催し、共通理解や連携を図りながら校則の見直しの動きをさらに促進させていきます。

市議会は市民の皆さんの声を聴いて



市政に反映できるよう頑張ります！

(※写真は、国際女性デーの Break the bias ポーズ)



掛川市議会 掛出前講座

こんにちは市議会です！

新型コロナウイルスの影響により、開催が難しくなった出前講座の受付を再開します。

掛川市議会では、市民により開かれ、より信頼される議会となるために出前講座を実施します。

議会に対する理解や関心を深めてもらうため議員が現地に出向いて議会の役割や仕組みなどを説明し、意見交換もします。



講座内容

- ① 議会の役割および仕組みに関すること
- ② 議員発議条例に関すること
- ③ その他議会に関すること

対象

市内在住の方々

開催時間

質疑応答時間とアンケート記入時間を
含み1時間ほど

開催場所

会場の用意や準備は、市民の皆さんで
お願いします。
※会場は市内に限ります。

費用

無料 ただし、会場使用料がかかる
場合は開催する皆さんで対応をお願いします。

その他

本会議会期中等は出前講座は行いません。
詳しいお問い合わせは議会事務局
(☎ 21-1160) をお願いします。

◎お申し込み方法

「掛川市議会出前講座申請書」に必要事項を記入の上、実施
希望日の1か月前までに議会事務局へ提出してください。

ホーム
ページは
こちら



お申込み
フォーム
はこちら



広報広聴特別委員会では、議会を知り身近に感じていただく活動、皆さんからのご意見を市政に反映させる活動を行ってきました。これからも、市民の皆さんの疑問やご要望にお応えできるよう、委員一丸となって皆さんと歩む議会を目指していききたいと思います。

広報広聴特別委員会 委員長 富田まゆみ

未来日誌

※4月13日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

4月

21日(金)9:00 ○全員協議会

5月

16日(火)9:30 ○本会議(5月臨時会)

19日(金)9:00 ○全員協議会

6月

8日(木)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)

20日(火)9:00 ○本会議(一般質問)

21日(水)9:00 ○本会議(一般質問)

22日(木)9:00 ○本会議(一般質問、議案質疑
～委員会付託)

本会議終了後 ○予算決算委員会

○分科会、部門別常任委員会

23日(金)9:30 ○分科会、部門別常任委員会

26日(月)9:30 ○分科会、部門別常任委員会

28日(水)9:30 ○予算決算委員会

7月

4日(火)9:30 ○本会議(委員長報告、質疑、討論、
採決、閉会)

21日(金)9:00 ○全員協議会

傍聴席

三名の議員の一般質問を傍聴しました。
 一月の将棋王将戦の経済効果の質問がありました。
 担当部長からは「〇〇万円の経済効果です」と通り
 一遍の説明だけでなく、通常は計算ソフトを用いて
 経済効果を算出するが、今回は関係者に問い合わせ
 調べたこと。和菓子屋や宿泊業でいくら売り上げが
 増えたことなどの話があり興味深く聞きました。経
 済効果が立体的に見えた気がしました。
 気になった点は「不登校特例校」の質問で、回答
 者は敬意を表した態度で質問者に回答して欲しいと
 思われる場面があったことです。
 市議会の一般質問を傍聴し、『広報』や『市議会
 だより』だけでは知ることができない情報に触れる
 ことができました。

鈴木直之(掛川第五地区)

議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、
議員研修会を行っています。

- 令和5年1月11日、中東遠消防指令センターの現場研修では、施設を見学し、消防指令システムなどの説明を受けました。
- 令和5年2月6日、中部電力株式会社から「浜岡原子力発電所の状況について」の説明などを受けました。
- 令和5年2月10日、掛川市・袋井市議会議員研修会では、日本銀行静岡支店長小泉達哉氏から「静岡県の金融経済情勢と金融リテラシーの現状について」の説明を受けました。

今後、議員研修会で学んだことを議会活動に活かしていきます。



編集後記

2年間、このメンバ
 ーで議会だよりの編集
 を行ってきました。手
 にとってもらえるよう、
 伝えたいことが市民の
 皆さんに伝わるよう工
 夫を重ねてきました。
 いかがでしたしょう
 か。今後も進化する議
 会だよりをお楽しみに。
 議会だより
 編集分科会 一同



今号の表紙は、掛川西高校美術部の
皆さんの作品です。

「部全体で協力してカラフルな画用
紙を貼り合わせて、新しくなった掛川城
と満開の桜を表現しました。」



美術部の皆さん(掛川西高校)

今号の表紙

